

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	北 区
学 校 名	堀川小学校
学校長名	衣笠 博政

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・堀川小学校では、第6学年 119 名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数・理科ともに大阪府平均・全国平均を大きく上回る結果となっている。平均正答率で、全国平均と比べ国語8.4ポイント、算数7.8ポイント、理科5.7ポイント上回っている。他、平均無回答率が全国平均の約5分の1、算数でも全国平均の約6分の1であった。懸念されている上位層と下位層の二極化傾向も今年度はほぼ見られなかった。

児童質問紙については、「自分には、よいところがありますか」の項目をはじめとする自己有用感、家庭学習・読書・ゲームとの付き合い方、先生や大人への相談、国語への関心などについて肯定的な回答が多く見られる等、前向きな意識であり良好な結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の各内容別正答率について、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項(3)我が国の言語文化に関する事項 A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと のすべての領域で((2)は設問なし) 大阪市平均・全国平均を大きく上回っている。特に「読むこと」の領域では12.4ポイント上回る結果となっている。また、問題形式別平均正答率について、選択式・短答式・記述式の各形式で全国平均を大きく上回った。特に記述式の問題で平均9ポイント上回る結果であったことは、大きな成果である。児童質問紙の「国語の授業の内容はよくわかる」の肯定的回答が91.8%だったことから、国語への関心が高く、また授業も充実していることが裏付けられるが、日頃の学習で、自分の考えを書き、それをもとに交流する学習方法を各教科で進めており、書く・聞く・交流する・考えを深めるといった活動が積み重なって成果となっていると考えている。

〔算数〕

算数についても、学習指導要領の各領域について全国平均を上回る結果であった。特に、B図形の領域で全国平均を13.3ポイント上回った。平均無回答率が0.6と、全国平均の約6分の1であったことも大きな成果である。問題形式別正答率では、記述式の問題で全国平均を12.1ポイント上回る結果となっており、良好な結果であった。本校では「堀川の算数」として、学習の進め方を全学年で統一しており、「考え方を書く」こと「考えを交流すること」を低学年から少しずつ続けている。問題を把握する力と考えを表現する力がつながり、良好な結果となっていると推察する。

〔理科〕

学習指導要領の区分・領域別正答率について、「エネルギー」を柱とする領域・「粒子」を柱とする領域・「生命」を柱とする領域・「地球」を柱とする領域のすべてにおいて、全国平均を上回った。しかし、児童質問紙の結果からは、理科に対する関心は、国語・算数に比べ低くなっている。予想や仮説を立て既習の知識を生かして考えること、差異点や共通点をもとに関係づけを行い見方や考え方をはたらかせることなど、理科で付けたい力を明確にして取り組む必要がある。

今年度の3教科の調査を通しては、上位層・下位層での大きな二極化は見られなかったが、学力に困難さが見られる児童に対しても充実した学習となり、学力を伸ばしていけるよう取り組みを工夫していく必要がある。

75問の質問紙は、生活習慣や学習習慣・規範意識や自己に対する意識・ICTとの関係・学習の対する興味関心や学ぶ姿勢などを問う質問内容となっている。本校では肯定的回答が全国平均を上回った項目が多くあったが、中でも

○自分には良いところがありますか。

○学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

○困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。

○読書は好きですか。

○国語の授業の内容はよくわかりますか。

等の項目で顕著であった。

課題と考えている項目は、

○普段、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしますか。

○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

○友達と協力するのは楽しいと思いますか。

等であり、6年生としての多忙な毎日の過ごし方なども反映していると考えられるものの、友だち関係の不安感なども持ちながら過ごしていると受け止める必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

◇普段から、課題に対しての自分の考えを書き、交流することにより自分の考えを広げ深める学習活動や考えをまとめて書く活動を各教科で進めており、その積み重ねは成果となって表れている。今後もこれらの活動を継続する。また、すべての児童に分かりやすい指導をめざし、授業方法について研修を進める。

◇子ども達にとって「楽しい学校」「楽しい行事」になるように、行事の内容を精選し取り組ませ方を工夫することで達成感・成就感を味わわせるようにする。

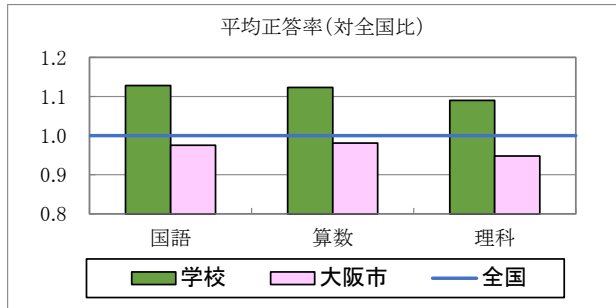
◇ICTについては、効果的に活用し学校としてのルールを設けたうえで、使い方に関する指導を丁寧に行う。

◇道徳科の中で、行いや行為を支える「見方・感じ方・考え方」等の内面的資質を育てるとともに、引き続き、互いに認め合える集団作りを通して、規範意識を高め、寛容な心を持てるような指導を行う。

【 全体の概要 】

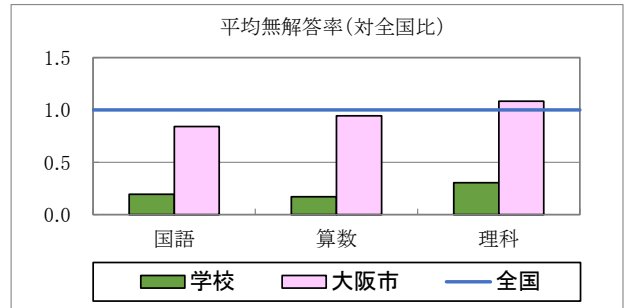
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	74.0	71.0	69.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3



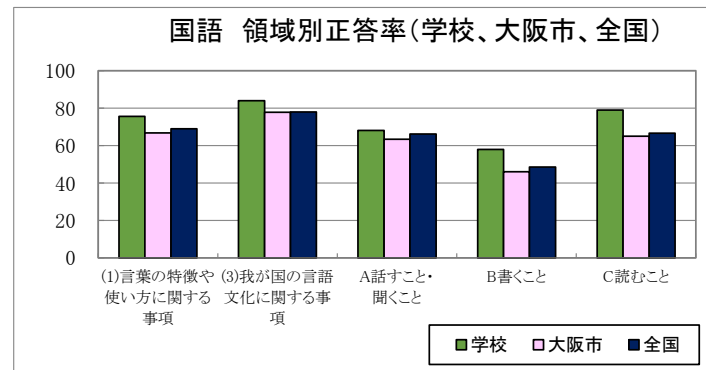
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	1.1	0.6	1.1
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6



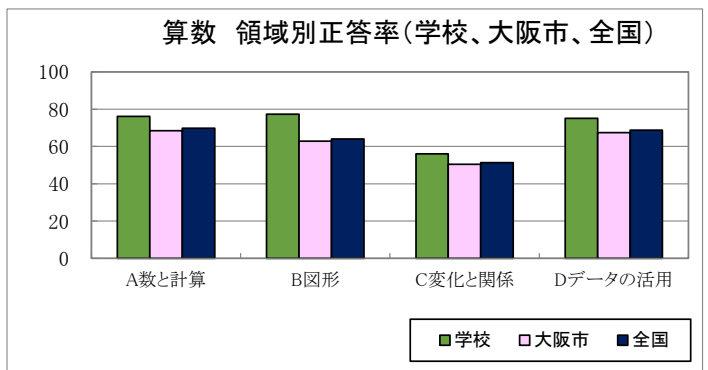
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	75.6	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	84.0	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	68.1	63.4	66.2
B 書くこと	2	58.0	46.0	48.5
C 読むこと	4	79.0	65.0	66.6

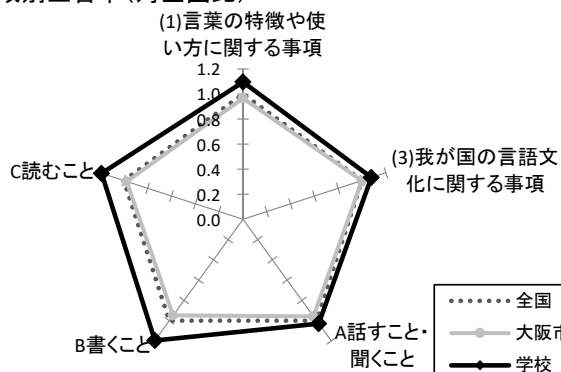


【 算 数 】

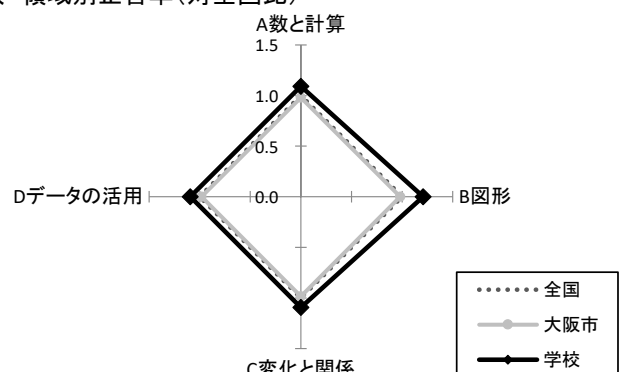
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	76.2	68.4	69.8
B 図形	4	77.3	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	56.1	50.5	51.3
D データの活用	3	75.1	67.5	68.7



国語 領域別正答率(対全国比)

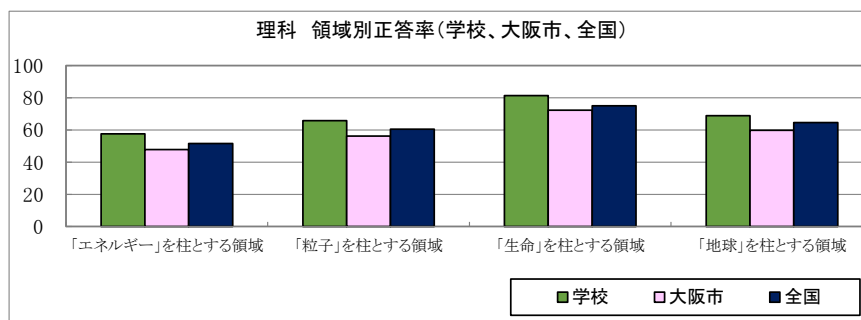


算数 領域別正答率(対全国比)

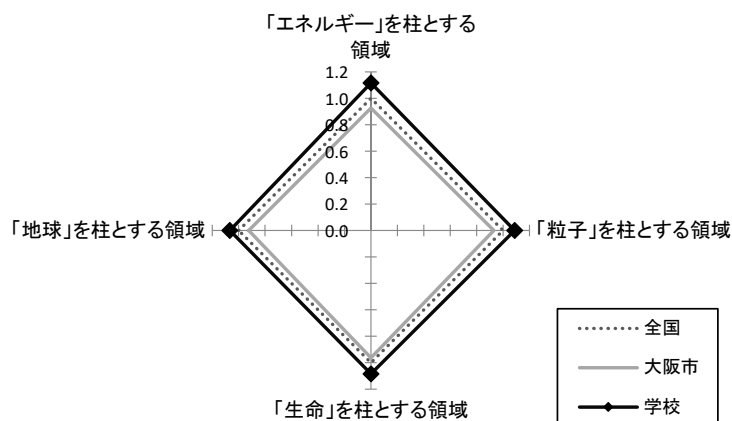


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	57.6	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	65.7	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	81.3	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	68.9	59.7	64.6



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

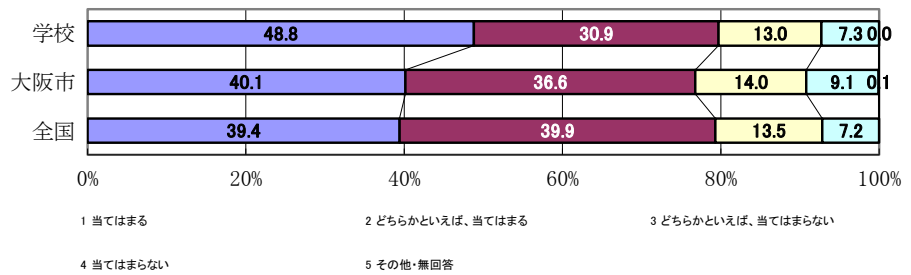
質問番号

質問事項

7

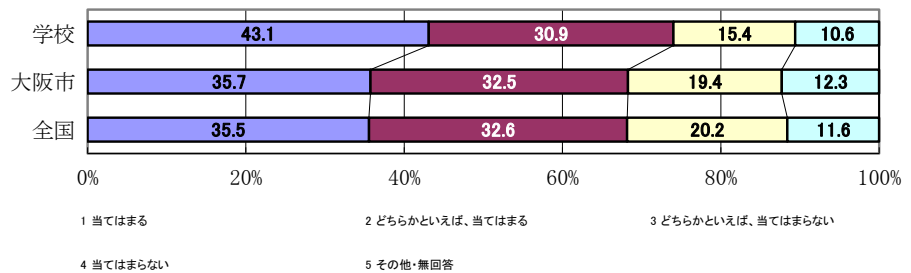
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



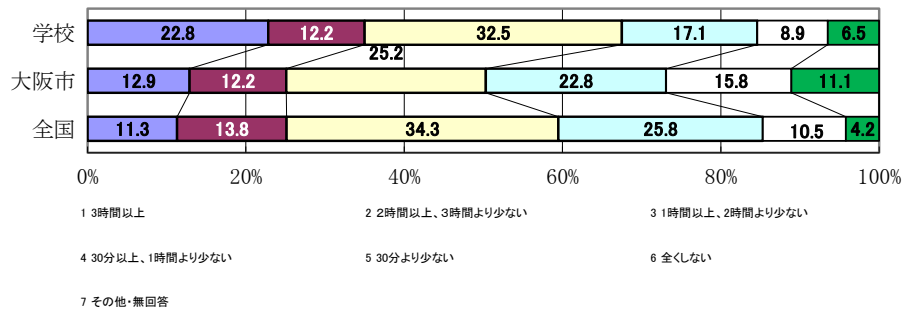
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



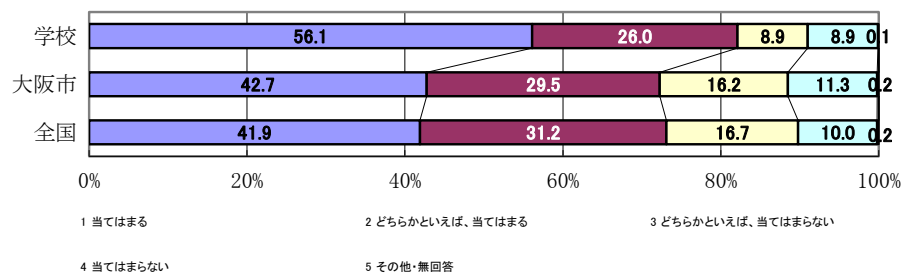
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



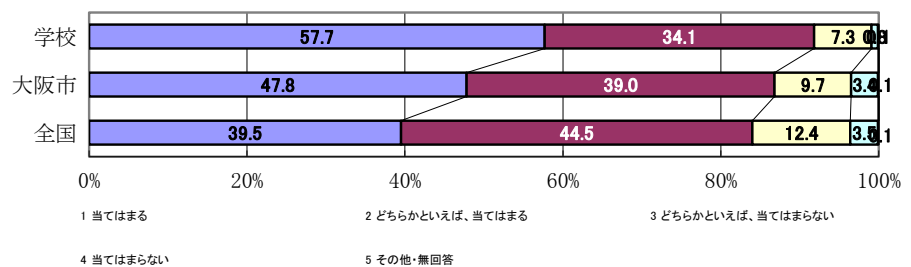
26

読書は好きですか



51

国語の授業の内容はよく分かりますか



学校質問紙より

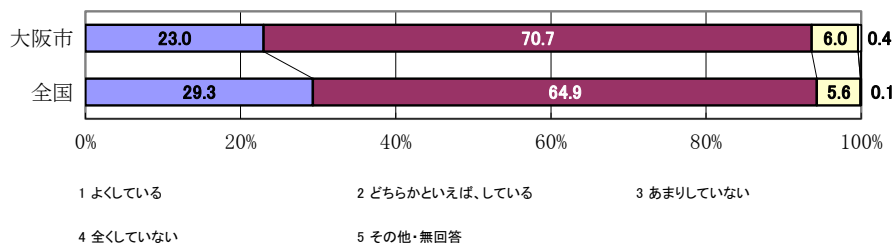
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

17

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

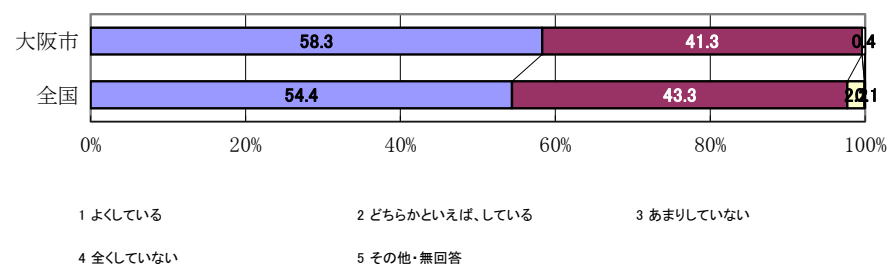
学校 「よくしている」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

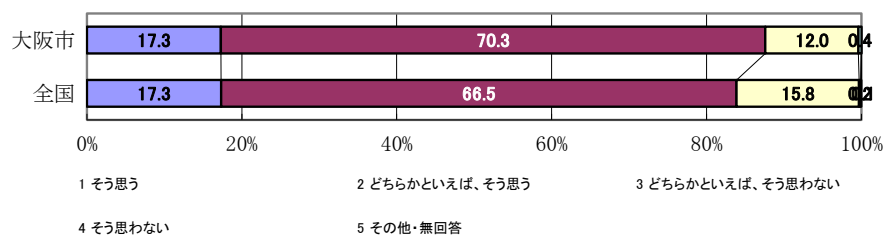
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

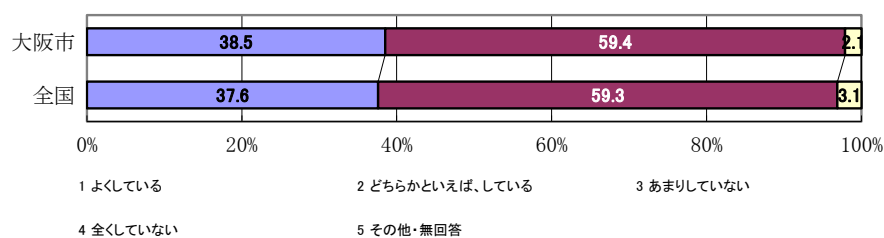
学校 「そう思う」を選択



36

調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「よくしている」を選択



41

調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

